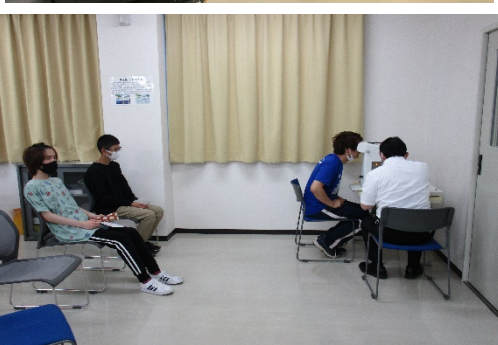


交通安全実技講習会

7月2日(金)、令和3年度交通安全実技講習会が行われました。学校前から自動車学校の方々の送迎の車で北見市北光にある会場に向かいました。到着後は自動車学校の先生のお話やドライブシュミレーション、動体視力検査、適性検査などが行われ、生徒達は緊張しつつも、とても楽しそうに、そしてまた真剣に講習会に参加していました。



北定だより

北海道北見北斗高等学校定時制課程



令和3年8月30日
第3号
文責：広報委員会



北定祭



7月21日(水)に恒例の北定祭が開催されました。生徒会長の挨拶のあとで、1年生から4年生まで赤・青の2チームに分かれて、なぞなぞ、○×クイズ、ビンゴなどの趣向を凝らしたプログラムに白熱の(?)戦いを繰り広げました。また全学年からの有志によるカラオケでは参加者もそして聴衆もその歌声に酔いしれ、しばし至福のひとときを過ごしました。ビンゴゲームでは全員に景品があたり、今年もまたとても楽しいイベントが無事終了しました。





夏休みが終わり、また授業が始まりました。皆さんはどんな夏休みを過ごしましたか？いつもよりは自由な時間も多くあって、のびのびと出来たのではないのでしょうか？心のアルバムに夏の楽しい思い出がまた増えていたら、いいなと思います。私にもそんな思い出がたくさんあります。なかでも、なぜか今もとても心に残っているものがあります。、15年ほど前、ある大学病院に入院していました。同じ病室にいらしたのは私以外は、皆肝臓がんなどの重い病気の方々でした。すい臓がん末期というSさんもそのひとりでした。このSさんが病室のムードメーカーでした。同じように大きな不安を抱えていたに違いなかったでしょうに、とても明るいのです。同室のNさんは「Sさんの明るさは天性のものね。」と言っていました。私もそう感じました。とにかく暗くなりがちな病室がSさんの明るさに救われました。夜はというと消灯が9時だったので、窓から見えるノルベサの観覧車の明るさに救われました。刻々と色とりどりにイルミネーションが変化して、まるで永遠に消えない花火を見ているようでした。夏の夜空に輝く消えない花火。ひとの命もそうであつたらいいのにとつくづく思いながら、眺めていました。そんなSさんが退院をする日、朝からとてもうれしそうでした。綺麗にお化粧をして、病衣からピンク色の洋服に着替えた後で、病室の鏡の前にとあるものを持ってきました。それは「カツラ」でした。Sさんは抗がん剤の治療のため、髪の毛がとても薄くなっていたのです。栗色のショートヘアのウィッグをかぶったSさんはとても素敵で美しく、あと10歳若返ったようでした。そうして「私たちは限られた命だから、残された日々を明るく楽しく生きましょうね。」と言って、帰って行かれました。無情の風の中にあっても決して虚無的にならず、人の世は夢幻だからこそ毎日感謝の気持ちで大切に生きる。わかっているつもりでもつつい忘れがちなことを改めて心に刻ませていただいた7月でした。



9月の行事予定



1	水	
2	木	防災訓練
3	金	前期期末考査①
4	土	
5	日	通教(有・N・中間試験)
6	月	前期期末考査②
7	火	前期期末考査③
8	水	①
9	木	交通安全対特別作戦取組期間(～9/30)
10	金	
11	土	
12	日	通教(有・N・中間試験)
13	月	①
14	火	
15	水	諸費口座振替日

16	木	
17	金	生徒会長選挙 職場調査②
18	土	通教(有・N・中間試験予備日)
19	日	
20	月	敬老の日
21	火	
22	水	
23	木	秋分の日
24	金	インターンシップ報告会
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	①
29	水	職業人インタビュー(2年)
30	木	①